



# 株式会社トラスト(3347)

## 2006年3月期 決算概要

2006年5月15日

## 目次

### 会社概要

3 P

### 1. 2006年3月期決算報告

4 P

### 2. 2007年3月期業績予想及び 課題と対策等

16 P

### 3. 中期事業戦略

20 P

### —資料—

## 会社概要

- 会社名 株式会社 トラスト
- 英訳名 TRUST CO. , LTD .
- 設立年月日 1988年12月
- 代表者
 

代表取締役社長	西山 勝晃
取締役営業部長	土橋 一勝
社外取締役	伊藤 誠英
- |       |       |
|-------|-------|
| 常勤監査役 | 齋藤 脩  |
| 社外監査役 | 柴田 和範 |
| 社外監査役 | 鹿倉 祐一 |
- 本社所在地 愛知県名古屋市中区錦三丁目10番32号
- 売上高 50億4千489万円 (2006年3月期)
- 従業員 49名 (2006年3月31日現在)
- 資本金 13億4,900万円 (2006年3月31日現在)

## 沿革

- 1988年12月 兵庫県尼崎市道意町において、株式会社トラストを資本金10百万円にて設立。中古自動車の輸出を開始
- 1989年1月 中古自動車をニュージーランドへ輸出開始
- 1990年12月 名古屋市中区錦3丁目2番26号に本社を移転
- 1996年8月 ウェブサイトによる中古自動車の輸出販売を開始
- 1996年9月 中古自動車の在庫管理及び整備の効率化を図るため、名古屋港にストックヤードを新設
- 1999年3月 販売台数の拡大に伴い、1,200台まで収容できるストックヤードを名古屋港に拡張
- 2003年3月 株式会社ホンダベルノ東海(現・VTホールディング株式会社)の子会社として、新体制で営業開始
- 2003年8月 名古屋市中区錦3丁目10番32号に本社を移転
- 2003年8月 販売台数の拡大に伴い、2,000台まで収容できるストックヤードを名古屋港に増設
- 2004年2月 横浜港からの輸出を開始
- 2004年11月 東京証券取引所マザーズ市場へ上場
- 2005年11月 パナマ共和国に船舶保有を目的とした100%出資在外子会社AMANA SHIPHOLDING S.A.(現連結子会社)を設立。
- 2005年12月 ザンビア共和国ルサカ市において、直販店第一号店を開店。

# 1. 2006年3月期決算報告

## 決算概要(ポイント)

- **アフリカ(ザンビア共和国ルサカ)に支店開設**

- ・主要販売地域のザンビアに直接販売店を開設。顧客と直接会話をして販売することにより、密着した関係を築くと共にニーズを把握することができる
- ・アフターサービスの充実による顧客の当社車両に対する信頼性の獲得

- **原価率の改善**

- 一定水準以上の品質を持つ車両の仕入
- 市場相場を勘案した販売価格の見直し

2005年3月期(通期) 76.7% → 71.4%

- **経常利益率の改善**

- 販売管理費等の見直し及び削減

2005年3月期(通期) 11.2% → 13.7%

## トピックス

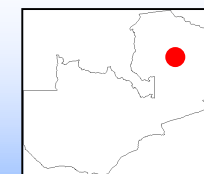
### AMANA船舶の取得－2006年1月

安定した収益を確保するため、海外の海運会社との当該船舶のリース契約による運用



### 海外支店の開設－2005年12月

ザンビア共和国 ルサカ市



アフリカ地域での需要の発掘および販売強化のため、現地で在庫をもって中古車を直接販売



## 決算業績概要(連結)

### ■ 損益計算書

(百万円)

科目		2005年3月期	2006年3月期	前期比 (%)
売上高	商品売上高	3,478	3,288	94.5
	受取手数料	1,897	1,756	92.5
売上原価	商品原価	2,563	2,192	85.5
	支払手数料	1,561	1,406	90.0
売上総利益		1,250	1,446	115.6
販売費及び一般管理費		656	773	117.8
営業利益		594	672	113.1
営業外収益		39	97	248.7
営業外費用		33	77	233.3
経常利益		600	692	115.3
特別利益		6	3	50.0
特別損失		19	53	278.9
当期純利益		343	377	109.9

一定水準以上の品質を持つ車両の仕入に努めた為、修理コスト及び船積みまでの時間短縮

人員採用に係る人件費の増加及び支店開設や現地市場調査等に伴う費用の増加

主に前受金整理収入及び船舶リース収入

船舶に対する減価償却費

アフリカ現地に業務委託会社との契約解消に伴う損失

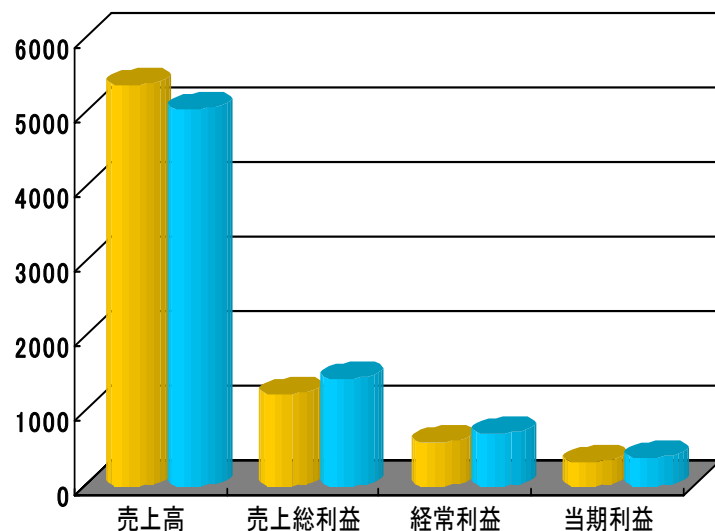
※2005年3月期は単体の数値であります。

# 決算業績概要(連結)

## ■ 損益計算書 2 (前期業績比)

### 2005年 3 月期

科目	金額 (百万円)	利益率 (%)
売上高	5,376	100.0
売上総利益	1,250	23.3
経常利益	600	11.2
当期純利益	343	6.3



### 2006年 3 月期

科目	金額 (百万円)	利益率 (%)	前期比
売上高	5,044	100.0	93.8
売上総利益	1,446	28.6	115.6
経常利益	692	13.7	115.3
当期純利益	377	7.5	109.9

#### 要因

- ・ 一定水準以上の品質を持つ車両の仕入
- ・ 市場相場を勘案した販売価格の見直し
- ・ 原価率の低下及びコスト削減

#### 要因

- ・ 主力販売先であるアフリカ地域の輸入拠点の規制により、顧客の負担が増えたため買い控えが発生



## 決算業績概要(連結)

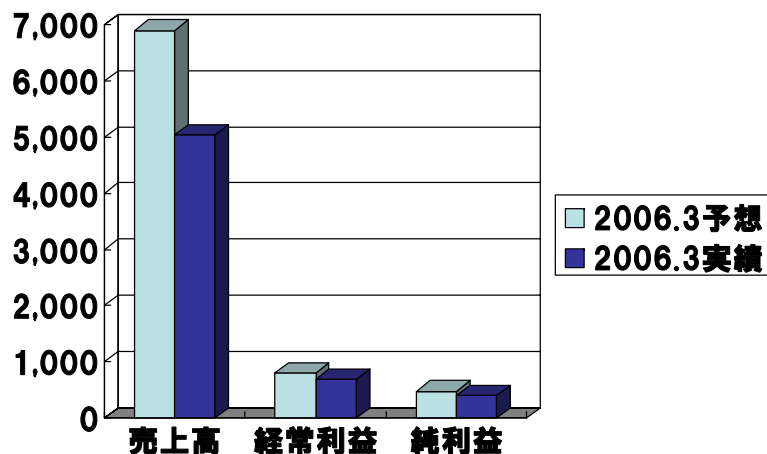
### ■ 損益計算書3 (業績予想達成率)

予想 (2006年3月期)

科目	金額 (百万円)
売上高 (16,000台)	6,907
売上総利益	—
経常利益	800
当期純利益	472

実績 (2006年3月期)

科目	金額 (百万円)	予測達成 (%)
売上高 (10,392台)	5,044	73.0
売上総利益	1,446	—
経常利益	692	86.5
当期純利益	377	79.8



### 要因

- ・ 仕入面においては順調に推移。
- ・ 達成阻害要因は輸送と南アフリカでの規制強化問題が大きかった。
- ・ 一部地域向けの船舶不足による売上高の鈍化
- ・ 売上高減に伴う経常利益及び純利益の減少

# 決算業績概要(連結)

## ■ 貸借対照表及びキャッシュ・フロー計算書

(百万円)

科目	2005年3月末	2006年3月末	前期 (%)
流動資産	4,095	1,994	48.6
現金	3,310	749	22.6
売掛金	75	88	117.3
たな卸資産	562	398	70.8
その他	147	759	516.3
固定資産	166	1,912	1151.8
有形固定資産	104	111	106.7
無形固定資産	8	41	512.5
投資その他の資産	53	1,759	3318.8
資産計	4,261	3,907	91.6

科目	2005年3月末	2006年3月末	前期 (%)
流動負債	1,019	814	79.8
買掛金	101	33	32.6
前受金	725	529	72.9
その他	193	252	126.6
固定負債	3	0	33.3
負債計	1,023	815	79.6
資本計	3,238	3,092	95.4
負債及び資本	4,261	3,907	91.6
自己資本比率	76.0%	79.1%	4.0%増

※2005年3月期は単体の数値であります。

区分	2005年3月期	2006年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	426	293
投資活動によるキャッシュ・フロー	△39	△1,727
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,976	△522
現金及び現金同等物の増加額	2,363	△1,962
現金及び現金同等物の期末残高	3,310	1,347

※2005年3月期は単体の数値であります。

販売状況から在庫数を適正化

子会社による船舶の取得

売上の減少に伴う顧客からの入金の減少

### 資金使途について

- ・ 海外現地拠点の設置
- ・ 現地販売促進費用
- ・ @ショップ開設等

## 決算業績概要(単体)

### ■ 損益計算書 (前年同期比較)

(百万円)

科目	2005年3月期	百分比 (%)	2006年3月期	百分比 (%)	前年同期比 増減 (%)
売上高	5,376	100.0	5,044	100.0	△6.1
売上原価	4,125	76.7	3,598	71.4	△12.7
売上総利益	1,250	23.3	1,446	28.7	15.6
販売費及び 一般管理費	656	12.2	773	15.3	17.8
営業利益	594	11.1	673	13.4	13.2
営業外収益	39	0.7	65	1.3	66.6
営業外費用	33	0.6	33	0.7	0.0
経常利益	600	11.2	705	14.0	17.5
特別利益	6	0.1	3	0.1	△50.0
特別損失	19	0.4	53	1.1	178.9
純利益	343	6.3	391	7.8	13.9

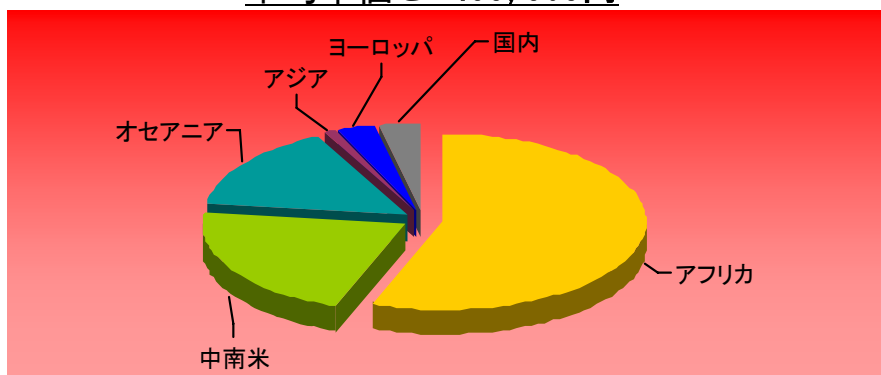
# 差異分析

## ■ 地域別売上高（地域構成）

2005年3月期

地域	台数（台）	金額（千円）	金額構成（%）
アフリカ	6,249	3,057,885	56.9
中南米	3,071	1,195,689	22.2
オセアニア	1,733	845,040	15.7
アジア	98	46,025	0.9
ヨーロッパ	460	174,273	3.2
国内	192	57,392	1.1
合計	11,803	5,376,306	100.0

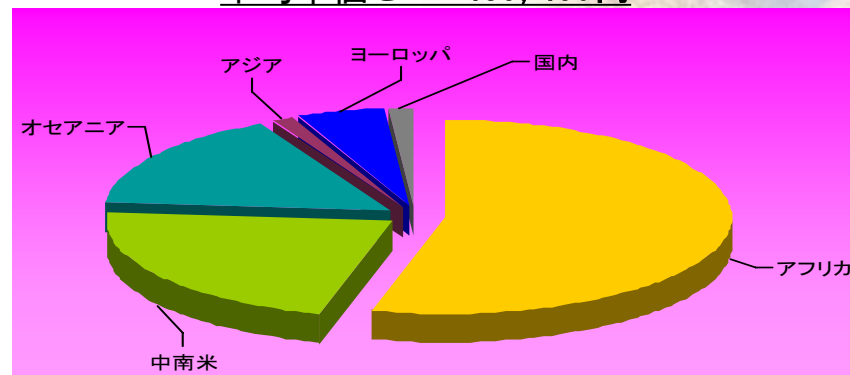
平均単価@ 455,503円



2006年3月期

地域	台数（台）	金額（千円）	金額構成（%）
アフリカ	5,326	2,737,622	54.3
中南米	2,537	1,117,478	22.1
オセアニア	1,359	808,379	16.0
アジア	111	61,039	1.2
ヨーロッパ	818	250,340	5.0
国内	241	70,031	1.4
合計	10,392	5,044,892	100.0

平均単価@ 485,459円



- ★ 高価格帯車（大型車、高年式車）の販売
- ★ グルジア（ヨーロッパ地域）での需要拡大

- ★ 新規販売国の開拓

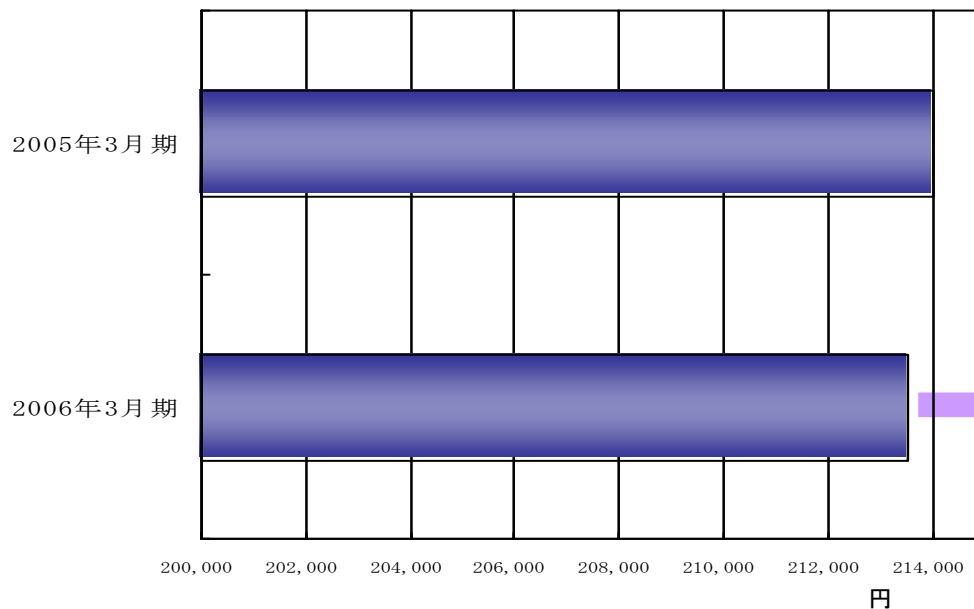
■ 車両仕入単価

回次	台数 (台)	金額 (千円)	仕入単価 (円)
2005年3月期	12,097	2,589,033	214,022
2006年3月期	9,639	2,058,107	213,518

0.3%減

【内訳】

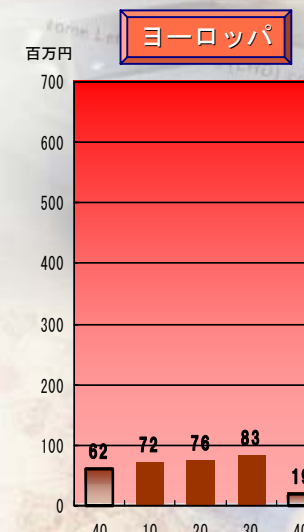
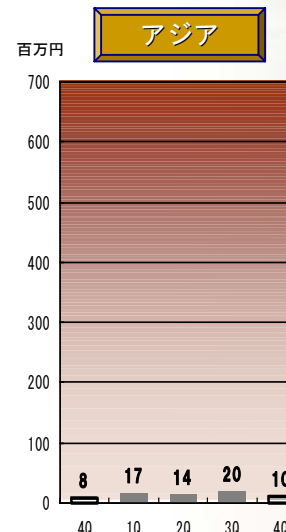
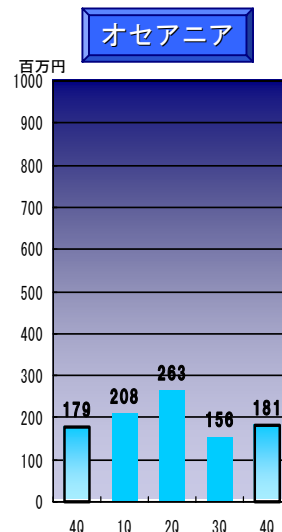
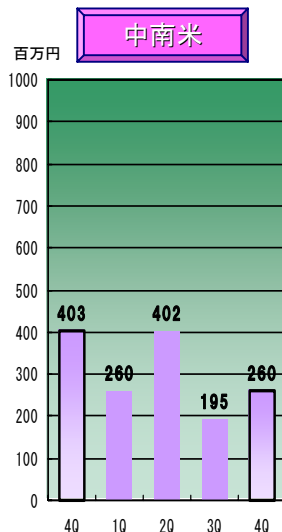
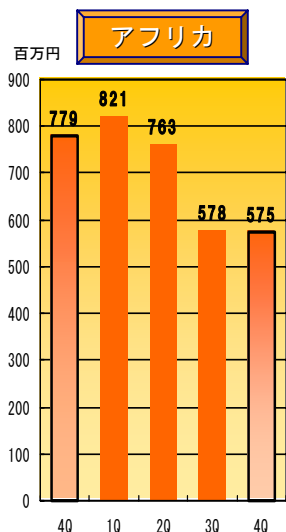
<平均単価>



仕入ルート	台数(台)	金額(千円)
オークション	7,221	1,492,145
大手自動車販売店	1,264	78,083
中古車販売会社等	1,154	268,408
陸送業者	—	104,399
自動車修理業者等	—	115,070
合計	9,639	2,058,107

・大型車の仕入及び同業他社とのオークションで競合の増加したものの自動車ディーラー等の中古車販売会社からの安価な車両仕入が増加したことによるもの

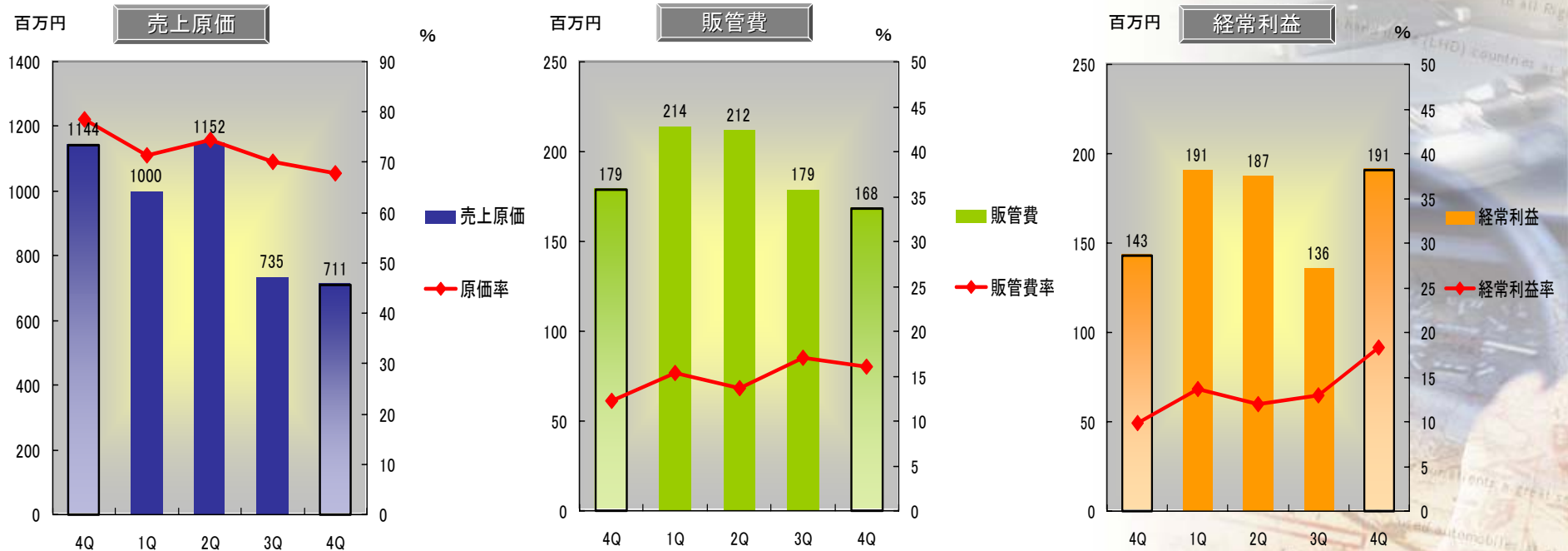
■ 地域別売上高推移



<直近3ヶ月の概況 (H18. 1. 1-H18. 3. 31) >

- アフリカ : 南アフリカ共和国における中古車の再輸出のための規制が変更されたことによる周辺諸国の顧客が買控えが発生。
- 中南米 : 輸送時期の遅延による減少
- オセアニア : ニュージーランド向けの輸出が減少、その他の太平洋地域については堅調に推移
- アジア : 極東向けの輸出が好調に推移
- ヨーロッパ : グルジアへ輸出が大半を占め、同国への輸出が増加。

■ 売上原価及び販売管理費推移



<直近3ヶ月の概況 (H18. 1. 1-H18. 3. 31) >

**売上原価** : 売上高に伴い減少。販売価格の見直しの継続により原価率は改善。  
**販管費** : 売上高に伴い減少。横浜ヤード縮小や経費削減に伴う減少。  
**経常利益** : 売上原価率の低下に伴い増加。また、営業外収益が増加した（主に為替差益、船舶リース料）為、経常利益率は向上。

## 2. 2007年3月期業績予想及び 課題と対策等





# 対策



顧客満足

顧客の不安を取り除く  
トラストを知ってもらい、顧客  
のニーズを知りそれに答える



ターゲットの  
明確化

国のターゲットをはっきりさせる  
マーケティングの重要視の施策



ES

組織体制を明確にし、  
責任をもたせる  
やりがいのある仕事

業績  
向  
上



## 2007年3月期業績予想(連結)

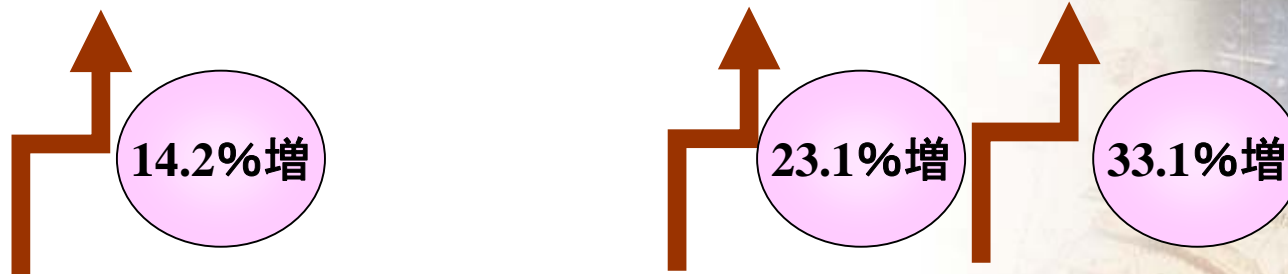
### ■ 業績予想

2007年3月期

	売上高 (11,100台)	売上総利益	販売管理費	経常利益	当期純利益	一株当たり 予想当期純利益
金額	5,761百万円	1,654百万円	796百万円	852百万円	502百万円	1,838円60銭
売上比率	100.0%	28.7%	13.8%	14.7%	8.7%	—

2006年3月期

	売上高 (10,392台)	売上総利益	販売管理費	経常利益	当期純利益	一株当たり 当期純利益
金額	5,044百万円	1,446百万円	773百万円	692百万円	377百万円	1,346円28銭
売上比率	100.0%	28.6%	15.3%	13.7%	7.4%	—



- 平均予定販売単価 : 485千円 (内、海上輸送料168千円)
- 台当たり平均予定原価 : 346千円 (内、海上輸送料等135千円)

潜在株式調整後1株当り当期純利益

1,339円65銭

### 3. 中期事業戦略



## 中期事業戦略

○ アフリカ地域への販売拡大に注力 → 直販店・@ショップの開設

○ 左ハンドル市場への輸出ビジネスの確立 → 左ハンドル車両の仕入

○ スペアパーツビジネスの確立 → 車両販売後のユーザーケア

業界全体としての伸び率は  
年間10%程度を予測、2009  
年には150万台前後の市場  
規模となる。

トラストは2009年には

利益重視の経営  
販売台数30,000  
台の達成を目指し

→ 経常利益、年率  
30%超の成長を  
目指す



*“Closer to You”*



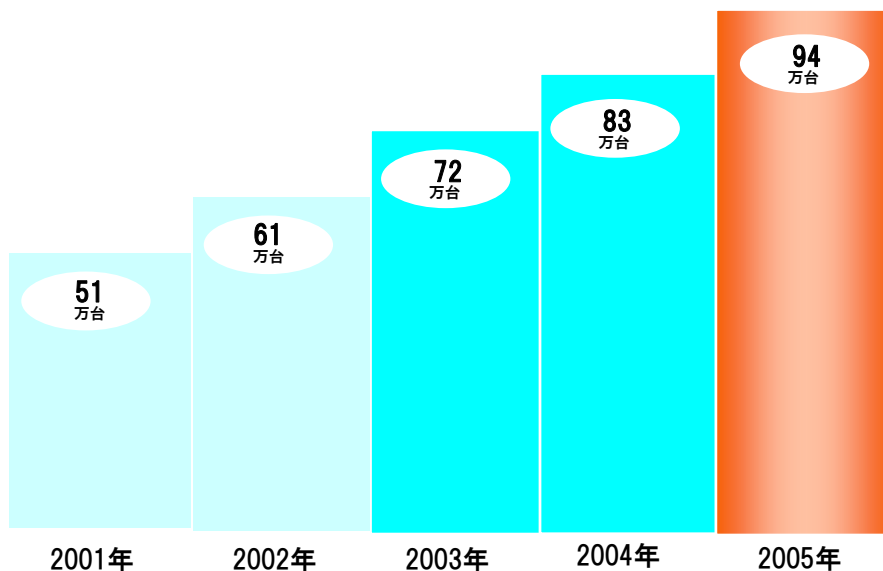
# 資料





# 事業環境と当社の売上高及び経常利益の推移

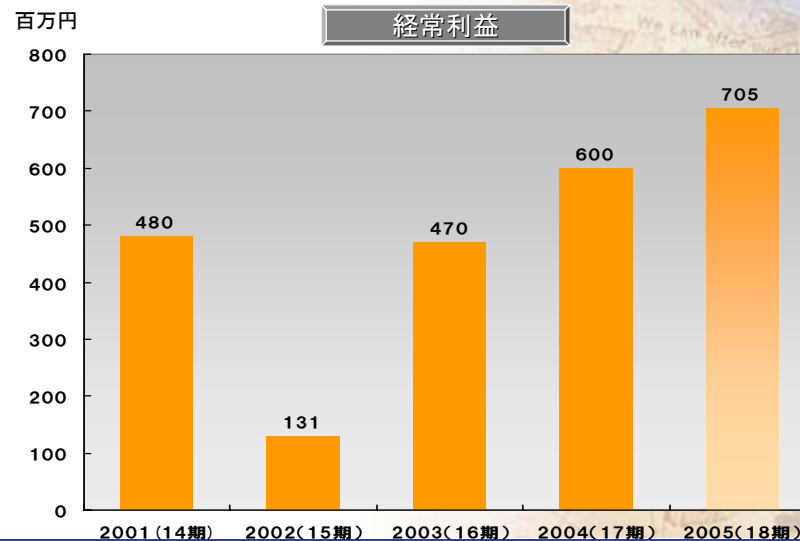
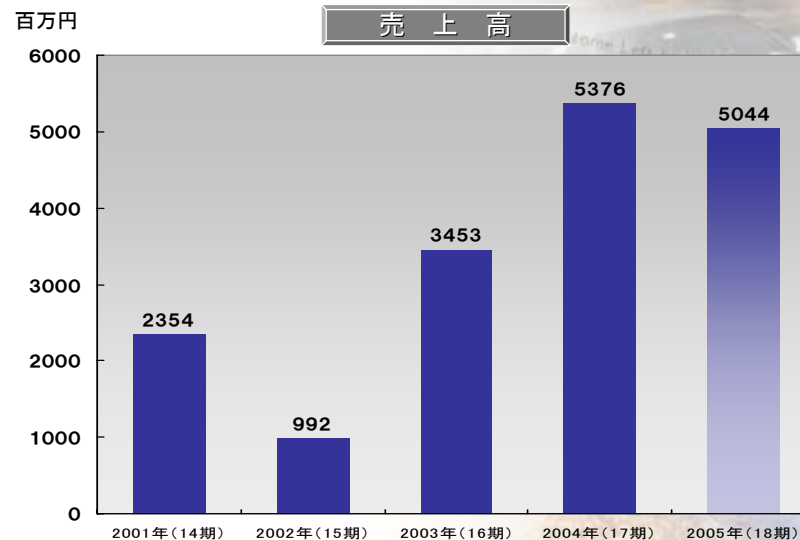
日本からの中古車輸出台数



国産車メーカーの輸出力の向上によって世界的に日本車の信頼性と知名度がアップ。

ネットオークション(国内外)の市場規模の拡大、インフラの整備によって市場の流通性がアップ。

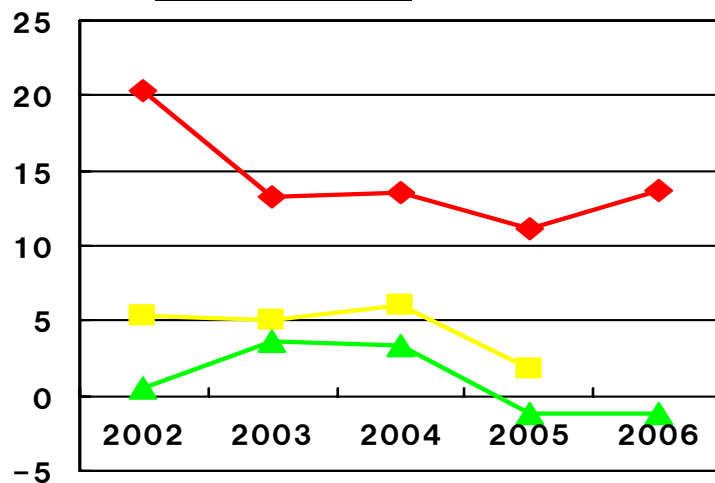
2005年の自動車リサイクル法施行



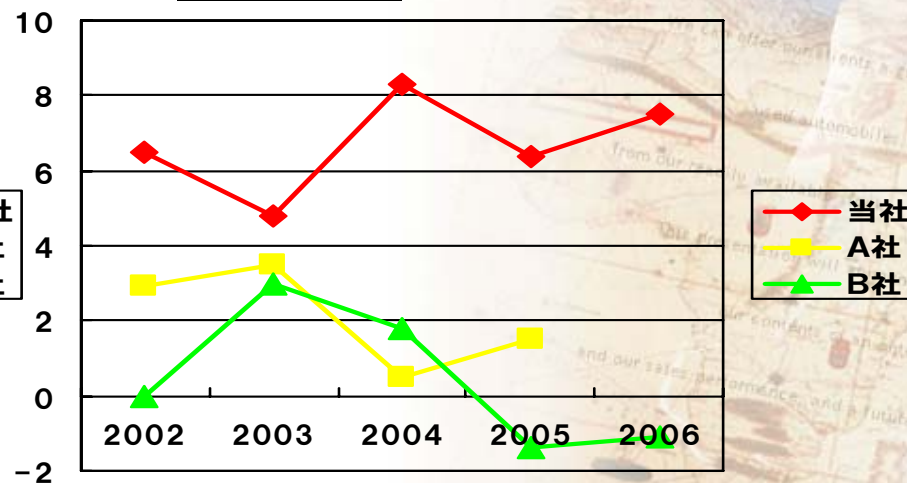
# 同業他者比較

	当 社 (2006/3期)	利益率	A社 (2005/12期)	利益率	B社 (2006/6期)	利益率
売上高	5,044		34,884		5,798	
営業利益	672	13%	269	0%	△64	△1%
経常利益	692	13%	604	1%	△69	△1%
純利益	285	8%	530	1%	△66	△1%

➤売上高経常利益率



➤売上高純利益率



## 連絡先



### 情報開示担当者

管理部 取締役管理部長 高森 弘	管理部 財務課長 村澤 快津
------------------------	----------------------

Tel:052-219-9058

Fax:052-219-9028

E-mail

[ir@japanesevehicles.com](mailto:ir@japanesevehicles.com)

### IRサイト (和文)

**E-mail** [ir@japanesevehicles.com](mailto:ir@japanesevehicles.com)

**URL** [www.trust-ltd.co.jp](http://www.trust-ltd.co.jp)

### 顧客サイト (英文)

**E-mail** [info@japanesevehicles.com](mailto:info@japanesevehicles.com)

**URL** [japanesevehicles.com](http://japanesevehicles.com)